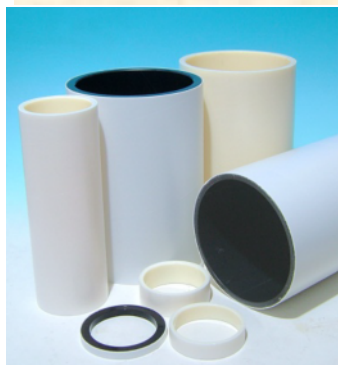


段差痕を生じない高機能フィルム用巻芯の開発で 省資源、省コストに貢献



長岡産業株式会社

(プラスチック製品(企画、加工、販売)、発泡ポリエチレン・ポリプロピレンシート加工、プラスチックフィルム印刷製袋プラスチックプレート(パネル)など)

樹脂・化学

印刷

事業概要と躍進の契機

樹脂発泡シート・樹脂フィルム・樹脂板の加工

主力事業は、発泡ポリエチレン・ポリプロピレンの加工販売。独立気泡構造の柔軟性を持つシート状ポリエチレンフォームについて、スライス・スリット・融着・コロナ放電処理などの後加工を1ストップで提供している。一方、食

Turning Points

品包装をはじめフィルム加工で蓄積したノウハウを活かし、フィルムのスリット、フィルム製袋、生分解性プラスチックのトレイ等、プラスチック加工に対するトータル事業を行う。

会社の強み・主力商品など

段差痕の発生しない高機能フィルム用巻芯

フィルムをロール状に巻くと、ロール内層にフィルムの厚みが起点となって、「段差痕」と呼ばれる線状痕が発生し液晶フィルム等では致命的な欠点となる。同社は、フィルム巻心の表面に弾性層を設け、製品の巻崩れやロール内層の段差痕の発生を防止し、不良率を減少させる特殊なフィルム用巻芯技術を開発した。コスト削減、廃

Strength

棄量減少とフィルムメーカーに大きく貢献している。一方、巻芯とは別にプラスチックフィルムやシートの表面に高透明な導電性ポリマーをコーティングし、帯電防止機能を付与する技術を開発した。受託加工も含めて、フィルムメーカーに下地材(基材フィルム)として、提供することを目指す。

今後の事業展開

高透明、高導電フィルムの開発

帯電防止フィルムの導電性能を高め、透明度の高さを活かしながら、タッチパネル・有機EL・電磁波シールドな

Vision

ども展開出来る透明度の高い、導電フィルムの開発を行っていきたい。

企業データ

所在地：〒520-0832 滋賀県大津市粟津町2番61号

TEL：077-534-1730 FAX：077-534-1729

URL：http://www.nagaoka-sangyou.jp

設立：1954年(昭和29年)

代表者：代表取締役社長 井上 哲

従業員：130名

資本金：4000万円

